



發行所 磐城日日新聞社  
社址 磐城小浜町通五丁目  
電話 31355番  
編集人 高瀬芳  
印刷所 磐城日日新聞社

### 失業救済近く實現か

#### 自由労組の認識高まる

小名浜町には小名浜自由労働組合と浜通地区自由労働組合との二つが結成され、組合員的生活安定と協同組合の発展に真摯なる就職運動を展開していること、本社の報道により、一般の認識を高めて、逐次同情と理解をもつて迎えられる、町當局もまた積極的な失業対策を計画し、直ちに実行に移さんとして居り、過日記者が病中の水野町長を自宅に訪問した際も、卒直にその構想を披露されたので、近き将来、何等かの形において具体化するものと期待されている、殊

に昨日の町定例會議に於ても矢田川の堰堤工事第二中学校舎の整地工事、小名川の改修工事等に急速に失業救済を充當せんとする議員の熱意は論議の焦点となつたので、これが前提となつて、今後の事業計畫の重要な条件として失業救済がとり上げられるのではないかと、上り下りしている希望もあらはれて居る、殊に長瀬大三氏を組合長とする小名浜自由労働組合は政治的、思想的な立場に立脚せず純然たる組合として前進することを、鮮明に示している、非常な好感を

### 夜間交通訓練

#### 小名浜署で實施

小名浜町警察署では、二十七日、二十八日、二十九日の三日間、盆の出による夜間交通事故防止と車の無灯火を取締るため、午後八時より十一時まで、街頭に進出し本町の松原時計店前に擴聲機をすえつけ、交通訓練を行つた。云々

### 嘆願書

小名浜自由労働組合發足以來格別の御協力を添ふし、深甚の謝意を表する次第で有りますが、近年來失業不振のため激増の一途をたどる失業者の生活を、切實なる問題として、誕生せる組合に對する御認識を、今更申上げる迄も無く、その御當局の御理解ある御協力にも拘らず、就労面の即時解決に到らず、此の際一人でも十人でも就労面を開拓したいと、縣外に運動し、第一回昭和外電工川崎工場に、第二回目青森縣某地に進駐軍依命工事、第三回報があるのではないかと予測されている

### 町民税(所得税制)決定

總務委員會では前日三十一日九時半開會し定例會議に於いて總務委員の所請に付記された町民税(所得税制)の決定満場一致にて百分の十八に決定した、なお委員は

### 大井川縣議

#### 演說會

民主クラブの第一人者として定評のある縣議の花形、大井川正巳氏は、今回の縣會に於ては、今回の縣會に於て不正事件、日本水素の煙毒対策等に関する重大問題を、ひつさげて辛刺なる質問の矢を放ち縣當局の心胆を寒からしめたが、その経過報告のため、時局と縣政と題して明日一小名浜、江名、豊間、鹿島で演說會を行う

### 今年は 二百十日 平穩

今夏は春以來の高温で稲の發育が順調に行きその上當地方は去る八月四、五日の降雨と大風で多少被害をうけたが、たいしたこともなく二百十日をむかえることになつた

### 消火栓完成

#### パン助現わる

北の國から南の國へ、出さねば損だ、といわなければならぬ、戦災から漸く復興しているとき、あの町、この村が裸になつて、保険屋は溜息をつき、罹災者は、ふるふるなど感心した話ではない、この頃小名浜では役場、町内有志、日本水素等の協力や援助で消火栓が出来たり防火施設が完備しつゝある、マツチ一本火事の元、焼いて泣くより焼かない用心、火事は國家の大

株式會社深山組

深 山 東 八  
定 西 電話五六八番

門 井 組

成 田 二 郎  
松ノ中日素前

小 林 組

吉 川 久 太郎  
小名浜町辨別

松 原 組

松 原 英 次 郎  
小名浜町須賀町

小 原 工務所

小 原 松 之 助  
須賀町 電話六八番

大 友 工務店

大 友 孝 之 進  
仲町境 電話九八番

作 山 組

作 山 安 太 郎  
古湊 電話一九番

藤 田 組

藤 田 喜 次 男  
単人 電話五六七番



### 日收二百圓の作業

#### 最近の小名浜母子寮

渡部縣民生部長及び平社會課長一行は八月二十九日午後三時來町、小名浜町母子寮及び、引揚者住宅保育所等を視察した。

現在、朝鮮の動亂の影響によつて思ふ様に、ならないので困つてゐると厚生課では語つてゐる。

作業収入は現在、會津方面の母子寮が竹細工、紡毛等の作業収入、一八〇圓に對して小名、濱母子寮は一日収入百二十圓から二百圓に及ぶものもあると云う事である。

### 又傳染病發生

小名浜町須賀町一九七番地、長瀬マサ子(二十五才)さんは八月二十九日午後七時頃、頭痛、嘔吐、下痢、赤痢と診斷され、同日午後九時頃、呼吸困難を來し、同日午後七時頃、呼吸停止した。

### 測位局復舊

青森縣尻矢崎無線測位局は機械故障のため八月二十日午前零時より運用を中止中、このところ二十六日午後六時復舊した。



梗概

最近瀬々として密輸船を専門に強奪する海賊の一團があつた。当局では川崎秀夫刑事をその海賊團の根拠地と見し、美土呂島に潜入せしめた。處が折角苦心の潜入も舊知の柱さゆりのために警察官である身分がバレ、一味に追われた。危く彼らの兇刃に仆れようとした時、忽然として現われ、川崎を救つたのは水室修平と馴染の秀鷹だつた。

海賊團の本據は何處か？ 頭目は誰か？ 娘に出會つた。啞でしな不具の娘だつた。得か？ 頭目は誰か？ 娘に出會つた。啞でしな不具の娘だつた。得か？ 頭目は誰か？

キヤスト  
岡 譲二 夏川大二郎  
水ノ江 瀧子 若杉須美子  
利根 啓恵 菅井一郎

## 海賊島

磐城座

九月一日(日)三日夜 三日間

霧の夜の幽霊船・航海舵を握つて死んでいた船長、唯一の手懸りは刀痕のある手首？

修平に戀して彼女は幾度か一味に追われ、修平の危機を救つた。ところがそのナゾの啞娘こそ、当局の追求の眼をのがれるために變装した女頭目だつたのである。彼女は修平が自分を狙う秀鷹と知らず、彼の男らしさに惚れ込んで、やがてそれが秀鷹とわかると愛憎のジレンマに苦しんだ。

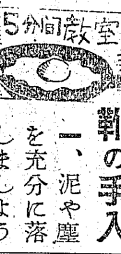
さて、桂さゆりは偶然のことからその戀人水室修平がこの島に在ることを知つて修平に一目逢いたいものと希つた。彼女が秀鷹と相愛の仲であることをかぎつけた一味は、彼女を誘拐してその本據に監禁した。

### 小名浜生活協同組合 発展のコースを進む

#### 組合員は益々増加

生活協同組合の主目的は、生活必需品の共同購入による組合員及びその家族の生活向上と福祉の増進を圖ることであるが小名浜町の生活協同組合は二十一年五月、二百三十四名の組合員と資金一萬六千圓という微々たる構想もつて發足した。この二十二年度は組合員八百八十九人、二十三年度は千七百六十六人、二十四年度は千八百五十五人と果敢に増大し、現在では二千二人に達している。この盛況である町内には西町、芳川、横町、竹町の四ヶ所に配給所を設け、他町村の生活協同組合が赤字で四苦八苦しているのに対しては黒字という好ましい現象を示している。

【今晚】北よりの風、よい天気  
【明日】北よりの風、初雲が廣がる海上はおだやか



靴の手入

一、泥や塵を充分に落とし、十分に乾かす。  
二、靴の裏面に靴油を塗る。  
三、靴の裏面に靴油を塗る。  
四、濡れた靴は新聞紙を揉み丸めて押し込み、乾かす。  
五、特殊の色や蛇皮、ハンドバック、靴等の手入れにはニートラ(無色)がよい。  
六、靴は乾燥しやすいため、雨後には完全に蓋をし、乾かす。

ナイトシヨウ  
地中海  
九月一日迄日延  
磐城座

小名浜青果物市場	さとう	八五〇
	なす	五〇〇
	ピーマン	四〇〇
	大根	四〇〇
	まめ	九〇〇
	ねぎ	八五〇
	甘藷	八五〇
	生芽	二〇〇
	きゅうり	一五〇
	ごぼう	一五〇
	枝豆	一五〇
市況	品薄	
小名浜魚市場	あじ	三六〇
	さば	二〇〇
	小魚	一三〇
	虫かき	一三〇
	小やなぎ	一四〇
	はも	一四〇
	真たこ	三三〇
	本まご	二二〇
	六三〇	一五八四圓

江前産 金時 小名浜鮎刺

料理 日本料理 西洋料理 中華料理 江戸前

大小宴會には是非とも 当店を御利用下さい

出前迅速、夜間十二時迄營業致して居ります

大一屋デパート階上 鳴美食堂

サービス本位の 電 561

大原 仕出し 割烹

小名浜町 下町 電 415 番

樋口 吳服店

中島 電 三〇四

洋品類なら 洋服地なら 昔よりおなじみの 中島通り

ヒグチへ 秋向き新柄取揃え 皆様のお出でをお待ち致して居ります